

環境活動レポート

【対象期間 2016年11月～2017年10月】



発行日 2017年12月4日

株式会社 久力製作所

代表取締役 久力 章喜

環境方針

【基本理念】

株式会社久力製作所は、住宅部品（ドアロック、ドア部品、ユニットバス部品、トイレアクセサリーなど）の製造において、安全で快適な暮らしを確保する為の一員として事業活動を行うと共に、皆の財産である霞ヶ浦、北浦の保全と地域社会とのコミュニケーションを推進し、環境保全活動を積極的に推進して参ります。

【基本方針】

1. 環境関連の法規制等を遵守する
2. 廃棄物の排出量及び最終処分量の抑制とリサイクル化を推進する
3. 無駄なエネルギー利用は排除し、業務効率の向上により省エネルギーに努める
4. 金属屑の積極的な省資源活動に取り組む
5. エコアクション21の活動を通じ、従業員の環境保全意識を高める
6. 環境方針は環境掲示板への掲示と説明で全従業員に伝達し、理解させる

株式会社 久力製作所

代表取締役 久力章喜

組織の概要

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社 久力製作所
代表取締役 久力章喜

2. 所在地

本社工場 茨城県行方市小貫1681
東京支店 東京都墨田区錦糸4-6-9小川ビル2F

3. 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 栃本修一
連絡先 TEL:0291-35-2636 FAX:0291-35-2683

4. 事業の概要

住宅部品(ドアロック、ドア部品、ユニットバス部品、トイレアクセサリなど)の設計、開発、製造及び販売

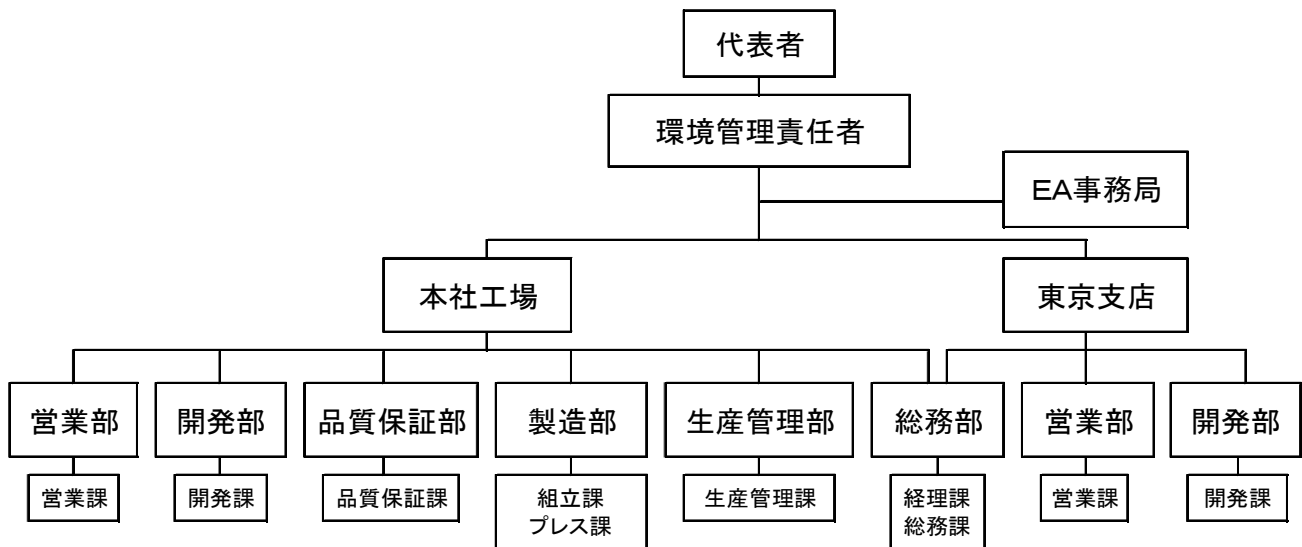
5. 事業規模

項目	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
生産高	t	4,547	3,924	2,942	2,559
売上高	百万円	2,502	2,199	1,922	1,697
従業員	人	76	72	64	62
床面積合計	m ²	1,500	1,500	1,500	1,900

・従業員の内2名は東京支店に所属

対象の範囲

1. 認証・登録範囲
本社工場、東京支店



2. 事業内容
住宅部品（ドアロック、ドア部品、ユニットバス部品、トイレアクセサリなど）の設計、開発、製造及び販売、すべての事業活動に適用している。

環境目標

No.	項目	単位	認証サイト	実績値	目標値		
				2016年度 (基準年)	2017年度	2018年度	2019年度
1	電力使用量の削減 【2016年度売上高原 単位実績値/百万円比】	kg-CO ₂ /百万円	本社工場	28.48 (54,742)	1%減 28.20 (54,195)	2%減 27.91 (53,647)	3%減 27.63 (53,100)
	【2016/17年度売上高原 単位実績値/百万円比】	(CO ₂ 実量換算値)	東京支店	1.030/2.269 (1,980/1,336)	— 1.030 (1,980)	1%減 2.246 (1,323)	2%減 2.224 (1,309)
2	化石燃料使用量の削減 【2016年度売上高原 単位実績値/百万円比】	kg-CO ₂ /百万円 (CO ₂ 実量換算値)	本社工場	15.26 (29,337)	1%減 15.11 (29,040)	2%減 14.95 (28,751)	3%減 14.80 (28,457)
3	水使用量の削減 【2016年度人数原単位 実績比】	m ³ /人 (水実量値)	本社工場	0.496 (32.00)	1%減 0.491 (31.68)	2%減 0.486 (31.36)	3%減 0.481 (31.04)
4	コピー用紙使用量の削減 【2016年度実績比】	枚	本社工場	337,500	1%減 334,125	2%減 330,750	3%減 327,375
			東京支店	1,000	1%減 990	2%減 980	3%減 970
5	グリーン購入の推進 【2016年度実績比】	品目数	本社工場	15	10%増 16	20%増 17	30%増 18
			東京支店	14	10%増 15	20%増 16	30%増 17
6	金属屑の削減 【2016年度実績値】	t	本社工場	29.27	1%減 28.98	2%減 28.69	3%減 28.39
7	廃棄物排出量の削減 【2016年度実績値】	t	本社工場	13.58	1%減 13.44	2%減 13.31	3%減 13.17

- ・ 電力使用量の削減目標の計上において、CO₂排出係数は2016年公表(2015年度東京電力 0.500kg-CO₂/kWh)の基準を使用した。
- ・ 東京支店において暖房を灯油(燃料)から電気へ切り替えたことにより、化石燃料使用量削減の目標設定を省略する。
- ・ No. 3 水使用量は月単位平均を設定値とする。また、東京支店については月1m³以下(基本使用量内)であるため、削減目標を設定せず計上までとする。

化学物質使用量(PRTR対象物質)は商品開発試験に限り使用するものであり、年間量としてはごく少量のため削減目標を設定せず、適正管理を目標とする。

環境活動計画

No.	項目	手段
1	電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不要な箇所の消灯 ・昼休みの消灯 ・パソコン、OA機器等の省エネ設定
2	化石燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車燃料、灯油使用量の削減 ・フォークリフト、自動車エコドライブの実施
3	水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・節水コマの取付け ・節水意識の向上による節水の実施
4	コピー用紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・裏面活用コピーの推進 ・資料のOA化(スキャナー利用、FAX利用)
5	グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・アイテム増加の推進
6	金属屑の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・プレス加工端材使用量の削減 ・製品不良発生防止
7	廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・製品不良発生防止 ・有価物化の推進

環境目標の実績

○ ≥ 100%…目標達成 100 ≥ △ 95%…やや未達 95% < × …未達

No.	2017年度環境目標	単位	認証サイト	実績値 2016年度 (基準年)	目標値	実績値	目標 達成率	評価
1	電力使用量の削減 【2016年度売上高原 単位実績比1%減】	kg-CO ₂ /百万円 (CO ₂ 実量換算値)	本社工場	28.48 (54,742)	28.20 (54,195)	27.74 (46,837)	102%	○
			東京支店	1.030 (1,980)	1.030 (1,980)	1.336 (2,269)	77%	×
2	化石燃料使用量の削減 【2016年度売上高原 単位実績比1%減】	kg-CO ₂ /百万円 (CO ₂ 実量換算値)	本社工場	15.26 (29,337)	15.11 (29,040)	12.43 (21,315)	122%	○
3	水使用量の削減 【2016年度人数原 単位実績比1%減】	m ³ /人 (水実量値)	本社工場	0.496 (32.00)	0.491 (31.68)	0.482 (31.08)	102%	○

○ ≥ 100%…目標達成 100 ≥ △ 95%…やや未達 95% < × …未達

No.	2017年度環境目標	単位	認証サイト	実績値 2016年度 (基準年)	目標値	実績値	目標 達成率	評価
4	コピー用紙使用量の削減 【2016年度実績比1%減】	枚	本社工場	337,500	334,125	300,000	111%	○
			東京支店	1000	990	500	198%	○
5	グリーン購入の推進 【2016年度実績比10%増】	品目数	本社工場	15	16	17	106%	○
			東京支店	14	15	15	100%	○
6	金属屑の削減 【2016年度実績比1%減】	t	本社工場	29.27	28.98	28.24	103%	○
7	廃棄物排出量の削減 【2016年度実績比1%減】	t	本社工場	13.58	13.44	4.27	315%	○

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

No.	項目	評価、次年度の取組内容
1	電力使用量の削減	節電の継続他、受変電設備(高圧機器取り換え)や工場天井の水銀灯(LED灯取り換え)の更新工事を実施した。その結果、本社工場は目標を達成したが、東京支店に関しては暖房を灯油(燃料)から電気へ切り替えたことが影響して未達成となった。次年度も引き継ぎ改善提案に基づき、更なる活動を行う。
2	化石燃料使用量の削減	工場内暖房の抑制や公共機関利用による移動など、効率的に移動を図った結果、目標を達成した。継続して取り組む。
3	水の使用量削減	節水コマとトイレ消音器の利用により、節水活動が全社的に実施され効果的に削減された。継続して取り組む。
4	コピー用紙使用量の削減	事務資料や作業指示書に至るまで、裏紙の利用促進の意識改革は定着した。更なるデータ管理により紙出力の抑制を推進する。
5	グリーン品購入の推進	カタログ、インターネット等でグリーン品アイテムを積極的に増加し、購入を推進した。継続して取り組む。
6	金属屑の削減	プレス加工原材料のコスト削減や加工、組立工程の改善活動により不良品発生が減少し、目標を達成した。継続して取り組む。
7	廃棄物排出量の削減	梱包ビニール類と樹脂不良部品類のリサイクルを推進した。継続して取り組む。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

1. 下記の主な法規制を含む全ての適用する法規制の評価において遵守していることを確認しました。また、関係機関等からの違反の指摘、訴訟等も過去10年間ありませんでした。

法規制	遵守状況	違反、訴訟の有無
廃棄物処理法、茨城県及び行方市条例	○	問題無し
PRTR法	○	問題無し
RoHS法	○	問題無し
フロン排出抑制法	○	問題無し
労働安全衛生法	○	問題無し
消防法及び行方市条例	○	問題無し
茨城県生活環境の保全等に関する条例	○	問題無し
茨城県廃棄物の処理の適正化に関する条例	○	問題無し
その他の法規制	○	問題無し

代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21活動が確実に効果を上げてきていることが報告から確認できました。売上げが減少する中、売上高比で目標を達成できていることは仕組みだけではなく、細かい皆さんの意識の積み上げでもあると評価しています。

特に本年度は水銀灯からLEDへの変更、変圧器の買い替えなどにより、電気使用量においては換算値で前期54,742kg-co2に対して今期46,837kg-co2と約15%の削減に成功し、大きな効果が上がっています。非常に有効な良い取り組みでした。

見直しについては現在適切な状態にあり、特に改善すべき点はなく更に本活動を推進してください。来期以降については2017年版への移行がありますのできちんとしたスケジュールを立てて遅延なく移行できるようにしてください。